

ものづくり産業を支える仲間たち②②

電機連合一
日立アプライアンス(株)
家電事業部多賀家電本部

今回は、上野駅から常磐線スーパー日立に乗って約1時間半、常陸多賀（ひたちたが）駅で下車、日立アプライアンス(株)家電事業部多賀家電本部は、駅の東側に隣接して、北西を走る常磐線、北東を流れる桜川に挟まれた場所に三角形に位置しており、東京ドーム約7.5倍の面積（40万平米）を持つ敷地内に、家電品の生産工場が建ち並んでいる。トラック輸送に代わるまで、常磐線からの引き込み線が入っており、構内の線路跡が往時を忍ばせていた。

日立アプライアンスの「アプライアンス」は、「家電製品」を意味しており、多賀家電本部は、文字通り、日立製作所グループの家電製品製造工場の発祥の地として、1939（昭和14年）4月に設立されている。この多賀工場を起点として、最近に至るまで、さまざまな分社化、工場分化、企業再編がなされてきたが、2006年4月に日立ホーム＆ライフ・ソリューション(株)と日立空調システム(株)を合併して、日立アプライアンス(株)を設立し、総合空調、オール電化、家電の3本柱で、日立の総合力を活かしてグローバルに事業を展開している。

多賀家電本部では、「ずっと使うから日立」をコンセプトに、3本柱のうち、「オール電化事業」と「家電事業」を展開している。「オー

内
自然環境にも恵まれた事業所構



全自動洗濯乾燥機の組立ラインの作業風景



ル電化事業」では、クリーン・快適・省エネの観点から、新しいライフステージに応える製品をトータルシステムで提案しており、製品ラインアップには、IHクッキングヒーターやシステムキッチン用オープンレンジなどがある。「家電事業」では、高い品質で全ての人に使いやすく、便利で、より快適な生活を実現する家電製品をめざし、全自動洗濯乾燥機、衣類乾燥機、掃除機、空気清浄機、換気扇、井戸ポンプ、電子レンジ、ジャー炊飯器、生ゴミ処理機などを開発・設計、製造している。

開発・設計にあたっては、日立アプライアンスだけでなく、日立製作所の各研究所、デザイン本部と一体となって、3D-CAD、CAEなどを駆使して行っている。製造についても、先に述べた通り、非常に多くの製品を取り扱っているが、大きさ・重量、構造など各製品の特性に応じた生産方式を導入している。例えば、洗濯機では従来のライン方式、掃除機では完全一人セル生産方式、IHクッキングヒーターではグループセル生産方式を基本としているが、市場需要の増減に応じて、セル生産・

ライン生産を組み合せる柔軟な生産体制としている。

今号の表紙イラストでは、ドラム式全自動洗濯乾燥機の組立ラインで、洗濯乾燥機の本体に、ドラム槽を組み付ける作業を描いている。洗濯機の本体には複雑な配線がたくさん伸びており、それらを一本一本ドラム槽とつなぎ合わせる作業は、機械では難しく、ベテランの経験と技が必要な工程だ。

ものづくりとは何もラインだけではない。新製品の開発をする開発・設計部門や総務・管理部門も、ものづくりの大切な原動力となっている。ラインや開発・設計部門、総務・管理部門を見学して感じたことは、人の和のぬくもりだ。家庭・生活を快適にするものを生み出しているところは、やはりアットホームだった。(美)



ドラム槽を本体に組み付ける作業—多数の配線をつなぐ作業にベテランの技が光る

AUTUMN
issue
[秋号]

from
EDITORS

◆今号では、「不安定労働との闘い」と題して、去る10月7日IMF「不安定労働に対抗する世界行

動デー」におけるJCの一連の行動と、IMFキャンペーン資料のほか、アジアの不安定労働の実態ルポなどを特集。日本だけでなく、アジア、世界で今や「不安定労働」が蔓延、働く者の安定した生活を脅かしている。労働組合として取り組むべき大きな課題である。この闘いは今始まったばかりである。◆日本でも、『ワーキングプア』が若者を中心に増えている。「ワーク・ライフ・バランス」どころでなく、「働けど働けど

我が暮らし楽にならず じっと手を見る」若者が多くなっている。経営者は利潤を追求することは当然であるが、1億3千万人の国民が安定した生活ができるように、安定した仕事を創出することも経営者、政府の社会的責任である。これから日本の中核を担う若者たちに安定した仕事と生活を与えずして、日本の未来も企業の将来もない。今ここにある不安定労働の危機に今こそ行動を！（美）